

# 通知表・指導要録の作成をパソコンで！

## パソコンでの作成は時代の流れ

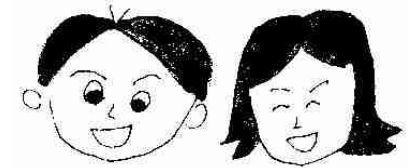
県下の他地域の様子（名古屋市、江南市・岩倉市をはじめとした尾北地方、春日井市、瀬戸市、北名古屋市・清洲市を始めとした西春地方、知多地方、三河地方、となりの稲沢市はおよそ半分が。つまり、県下のほとんどが）

### 通知表

- ・評価、評定、所見、出席日数は、パソコンで処理。
- ・学期別の用紙でプリント。渡したまま回収しないところが多い。
- ・印刷が集中するので、教務など（余裕のある人）が全校分をプリントするところもある。その方が試し刷りや失敗が少なく紙に無駄が出ない。

### 指導要録

- ・1枚目・2枚目ともにパソコンで処理。
- ・通知表のデータを生かし（文体を変えたりする。）、2枚目もパソコンで処理。
- ・2年生以上は、前学年までのデータを蓄積しておいて、まとめて印刷し、前年度の2枚目は処分するところが多い。



## パソコンで作成している地域では こんな効果も

- 1つのデータをいろいろ使うので仕事の能率がグーンと良くなった。
- 学期末や学年末の事務処理が早くできるようになり、子どもたちと最後をどう過ごすかということに時間をかけることができるようになった。
- 仕事の能率が上がって仕事がやりやすい。
- 遅れている子やできない子への指導の時間がとれる。
- 学期末や学年末でも授業の準備や子どもたちとの直接のふれあいに時間をかけることができる。
- 教師は時間外の労働も少なくなる。

## 他地域と比べるとよくわかる一宮の忙しさ！！

- ( ) の他地域と比べてください。
- 累積簿も提出（一覧表だけ。累積簿はない。）
  - 評価の観点—小学1年生の場合—6教科23観点
    - ・多くの学校のように1観点3本とると合計69本！  
（私簿をもとにとる。1観点1本でもよいので合計23本も可。）
  - 通知表を書く時間は保障されていない。  
小学校も部活はある、会議はある、授業の短縮はない。  
当然、帰りは遅くなる。土日出勤が当たり前の学校も。  
（ほとんどが小学校部活はない。）
  - テストは教師の手作り。（業者テストも可。）

これでは評価に追われて指導ができないよ。なんのために評価してるかわからなくなるよ。



## 来年度からの実施を要求します！

（一宮にはすでに木曾川地区で行われている方法があります。また、一宮の学校のパソコンもそれら全てができるようになっていきます。あとはゴーサインだけです。）

### 市教組は10年前（2002年）から

通知表づくりにパソコンの使用を要望してきました。

### 校長会・市教委はこの10年

「検討します。」というときもありましたが、ほとんどが「手書きだと温かみがある。」と回答。

### なぜ一宮は改善が進まないのか？！

それは、

現場の先生方の忙しさを理解して改善しようとしなないからです。また、忙しさによって子ども達とのふれあいや直接指導できる時間が少なくなって先生方が困っていることがわからないからです。

一宮市教組の今年の要求アンケート「30人学級実現を第1に交渉を進めています。その他にあなたが特に望むことはなんですか。」のトップは「通知表所見をパソコン印刷可能に」です。アンケート回答者230人中の126人で実に半数を超える現場の教師が求めています。校長会・市教委はこの声に応じて早急に改善すべきです。

全教・一宮市教組ニュース

一宮市教職員労働組合  
2011年 12月